

京（みやこ）の水ビジョン

－京都市上下水道事業10年ビジョン（2008-2017）－

京都市上下水道局の新たな経営戦略の一環として策定した、今後10年間に上下水道事業が取り組むべき課題や目標を示すビジョン

<計画期間 2008（平成20）年度～2017（平成29）年度の10年間>

ビジョン編 目次

○10年後の京都のまちと皆さまの暮らし ……	2
1 策定の経緯・背景 ……	6
2 基本理念と5つの施策目標 ……	8
3 22の重点推進施策 ……	10
4 5つの施策目標の実現と点検・見直し ……	15
○22の重点推進施策に係る数値目標一覧 ……	16
（参考）	
○京（みやこ）の水ビジョン策定まで ……	17
○琵琶湖疏水 ……	18

プラン編 （ビジョンの実現に向けた前期5箇年の実施計画）… 19

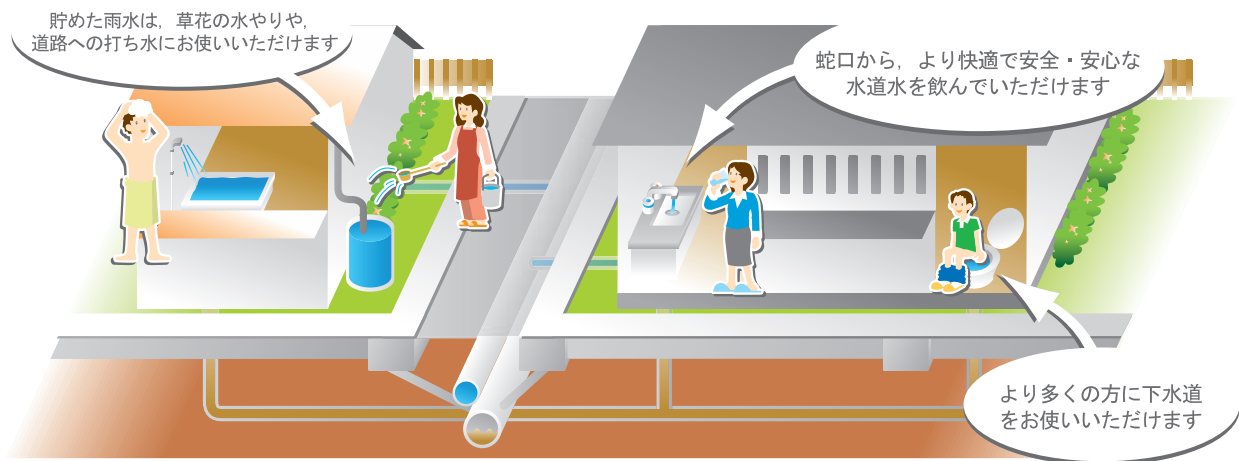
10年後の京都のまちと皆さまの暮らし

これからお示しする「京（みやこ）の水ビジョン」に着実に取り組むことにより、10年後には京都のまちや皆さまの暮らしは、このように変わっていきます。

さまざまな視点から、その一部をご覧いただきたいと思います。

ご家庭では・・・

- ・蛇口を通して、より快適で安全・安心な水道水を、いつまでも安定して利用していただけます。
- ・下水道により、快適で衛生的に生活していただけます。



さまざまなサービスは・・・

- ・夜間や休日でも、皆さまのご自宅や街角から、電話やパソコン等で給水申込みが可能となり、さらに、さまざまな情報がネットで検索できるようになるなど、皆さまからのアクセスが簡便になります。
- ・皆さまのご自宅にお伺いする機会をとらえ、“お客さまの声”をお聴きします。



まちなかでは・・・

- ・市内河川や下流水域の水質が向上し、良好な水環境が実現されます。
- ・雨の日にも市内河川や下流水域の水質が改善されます。



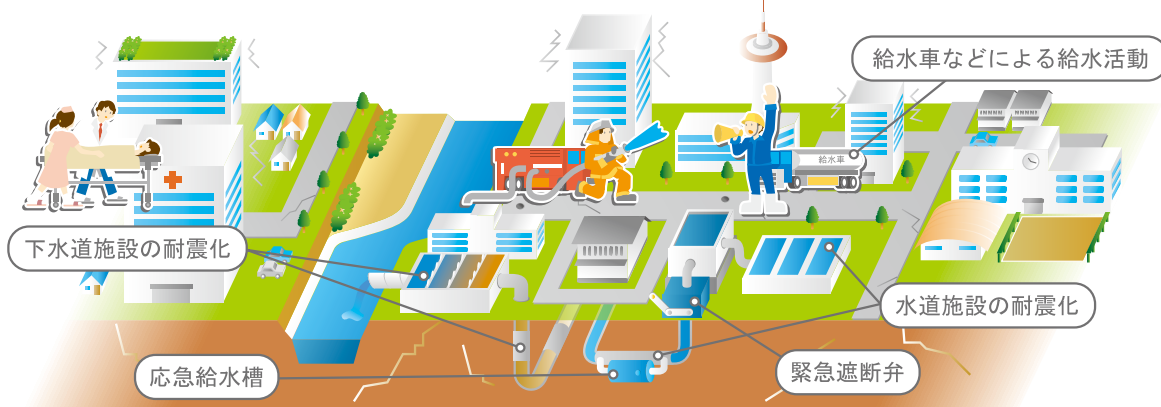
大雨が降っても

- ・大雨でも浸水がなく、安心してくらせるまちになります。
- ・計画降雨以上の大雨でも、地下街等での重大な浸水被害を防ぐことが可能になります。



地震が起こっても

- ・大規模地震が起こっても、安心して水道・下水道をお使いいただける場所が多くなります。
- ・被災時にも早期に復旧ができ、水道・下水道が使用できない期間が短くなります。



琵琶湖・淀川の流域では・・・ ～京都が担う役割は何か？～

- ・琵琶湖・淀川水系の中流域に位置する大都市として、水源である琵琶湖疏水の水を大切に使い、下流都市の水利用や水域の生態系も含む水環境の保全のために、市民の皆さまや上流・下流域の関係者と連携した取組を進めてまいります。
- ・琵琶湖からの水は都市規模での循環を繰り返しながら、最終的に大阪湾から瀬戸内海に流れ込み、蒸発して雲となり、やがて雨となって元の水源に帰っていく。つまり、ここでくらすすべての人々は大自然が営む水循環と深く関わっているのです。
- ・日々の暮らしの中で「水」を使うとき、ぜひこのことを思い出してください。

高度浄水処理



高度浄水処理を導入・推進することにより、水道水の異臭味を取り除くことができ、蛇口から、より快適で安全・安心な水道水をお届けします。



下水の高度処理

下水の高度処理を推進することにより、下水中の窒素やりん、着色を取り除くことができ、淀川や大阪湾等の下流水域や市内河川の水質が向上し、良好な水環境が実現されます。



雨水の貯留浸透と資源の有効活用

雨水の貯留浸透を推進することで、浸水被害の軽減、地下水のかん養やヒートアイランド現象の緩和など、さまざまな効果が期待できます。また、下水汚泥等の資源を有効活用し、環境への負荷を減らしていきます。